

平成25年11月定例会 文教厚生委員会（事前）  
平成25年11月26日（火）  
〔委員会の概要 教育委員会関係〕

中山委員長

ただいまから、文教厚生委員会を開会いたします。（13時57分）

直ちに議事に入ります。

これより、当委員会の閉会中継続調査事件を議題といたします。

まず、教育委員会関係の調査を行います。

この際、教育委員会関係の11月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①②）

- 議案第1号 平成25年度徳島県一般会計補正予算（第3号）
- 議案第12号 徳島県社会教育委員設置条例の全部改正について
- 議案第20号 徳島県立牟岐少年自然の家の指定管理者の指定について

【報告事項】

- 「大歩危」の国天然記念物指定について（資料③）

佐野教育長

11月定例会県議会に提出を予定いたしております教育委員会関係の議案等の御説明に先立ち、1点御報告いたします。

去る10月23日、盲学校の技師が恐喝の容疑で逮捕されるという事案が発生いたしました。当該職員は、11月12日に恐喝と暴行の罪で起訴され、現在も拘留中でございます。

今後、事実確認が出来次第、早急に厳正な対処をしてまいりたいと考えております。

このような県民の皆様からの信頼を大きく損なう事態に至ったことは誠に遺憾であり、深くお詫び申し上げます。

誠に申し訳ございませんでした。

今後、このような事態を再び招くことがないように、改めて教職員一人一人に対し、綱紀の保持、服務規律の確保について徹底を図り、信頼回復に努めてまいりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

引き続きまして、11月定例会県議会に提出を予定いたしております教育委員会関係の議案等につきまして、御説明申し上げます。

今回、御審議頂きます案件は、一般会計予算の債務負担行為1件、その他議案等といたしまして、条例案1件と指定管理者の指定1件でございます。

それでは、お手元に配布いたしております文教厚生委員会説明資料の1ページをお開きください。

まず、一般会計予算における債務負担行為でございます。

これは、指定管理者の指定を予定いたしております徳島県立牟岐少年自然の家の管理運営協定につきまして、平成26年度から平成28年度までの3年間で、2億2,465万6,000円の債務負担をお願いするものでございます。

次に、2ページをお開きください。

2のその他の議案等といたしまして、（1）の条例案でございます。

アの徳島県社会教育委員設置条例についてでございます。

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により社会教育法の一部が改正されたことに伴い、徳島県社会教育委員の委嘱の基準を「学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する」と条例で定めるとともに、規定の整備合理化を図るため、徳島県社会教育委員設置条例の全部を改正するものでございます。

なお、施行期日は平成26年4月1日からでございます。

続きまして、3ページを御覧頂きますとともに、お手元の資料1を御覧ください。

（2）の指定管理者の指定についてでございます。

アの徳島県立牟岐少年自然の家の指定管理者の指定につきましては、教育委員会指定管理候補者選定委員会での審議結果を踏まえ、指定管理候補者を選定いたしましたので、地方自治法の規定に基づき提案するものでございます。

指定管理候補者の募集に対しましては、1団体、岡田企画株式会社から申請書の提出があり、選定委員会において申請書類の審査及び面接審査を実施していただきました。

審査の結果、徳島県立牟岐少年自然の家の設置目的を的確に把握した管理運営方針に基づいていること、県内外の家族や幅広い層を対象とし、施設の特性を生かした自主事業が提案されていること、豊かな知識と経験を有した職員を配置することにより、海の活動の特性を踏まえた確かな安全・危機管理体制と優れた教育効果が望める事業実施体制が計画されていることなどにより、岡田企画株式会社が指定管理候補者として適任であるとの選定結果を選定委員会から頂いたところでございます。

この結果を踏まえ、教育委員会といたしましては岡田企画株式会社が徳島県立牟岐少年自然の家の指定管理者に指定されるよう、お願いするものでございます。

なお、指定期間につきましては、先ほど債務負担行為で御説明いたしました平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間でございます。

続きまして、1点御報告させていただきます。

「大歩危」の国天然記念物指定についてでございます。

お手元の資料2を御覧ください。

大歩危は平成26年3月に指定50周年を迎える剣山国定公園に含まれるなど、本県を代表する景勝地、観光地として、国内外で知られております。

一方で、海洋プレートの沈み込みにより形成された三波川変成岩が観察できる国内有数のポイントであり、去る11月15日、国の文化審議会から日本列島の成り立ちを知る上で極めて重要であるとして、約500mの範囲を天然記念物に指定するよう、文部科学大臣に対

し、答申がなされました。

県教育委員会におきましては、大歩危の国指定に向けた地元の三好市教育委員会の取組を支援してまいりましたが、今後とも国や地元と連携し、文化財の適切な保護と活用を図るとともに、学術的な価値や特徴が認められた範囲の追加指定を目指している三好市教育委員会を、引き続き支援してまいりたいと考えております。

以上で、報告を終わらせていただきます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

中山委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入りますが、事前委員会の質疑については、提出予定議案に関連する質疑及び緊急を要する案件とする申し合わせがなされておりますので、御協力よろしく願いいたします。

それでは、質疑をどうぞ。

古田委員

牟岐少年自然の家の指定管理候補者が岡田企画株式会社に決まったというお話がありました。

1事業者だけからの申出ということですが、前回でしたらもっとたくさん参加されていたように思うのですが、1事業者になってしまった経過と、職員の地元雇用、地元業者を最優先にした食材調達や業務委託といったことが評価されているわけですが、何人の方が働いていますか。また、給与も下がるのではないかと心配いたしております。全体としては少し下がり気味の指定管理料になっているわけですが、その辺はいかがでしょうか。

井上生涯学習政策課長

今、古田委員のほうから牟岐少年自然の家の指定管理の募集が1事業者であったということで、少ないのではないかと御質問でございました。

前々回、第1期の応募におきましては、4事業者から申請がございまして、平成22年度からの第2期につきましては2事業者からの応募がございました。3期目となります今回の応募につきましては、我々といたしましてもいろいろな応募者の拡大、あるいは利便性の向上等を図るため、ホームページへの掲載や様々な資料提供、また、応募期間におきましても現地説明会を従来1回でございましたが、それを2回にするなど、できるだけ多くするための対策をしてまいったところでございますが、今回の応募につきましては1事業者のみでございました。

このように応募が少なかった理由としては、青少年教育施設としての運営に当たっての専門性が必要とされている、また、豊かな知識と経験を有し、専門性の高い職員を確保することが難しい状況があるのではないかと考えております。

職員の人数等でございますが、本年度、統括責任者、さらには所長、また、各事業部の

職員数が総数で29名おります。そのうち、地元等の採用につきましては、海部郡内の地元職員が29名中27名でございます。

#### 古田委員

応募しているところがだんだん減ってきているわけですが、専門性がある職員の確保などが難しくなっている状況であるというお話は大体わかりました。29人の方が働いているわけですが、給与をどんどん下げていくということにならないように、地域への貢献なども頑張っていらっしゃるということですので、是非、民営化がうまくいくように頑張ってくださいと思います。

#### 竹内委員

緊急性ということではないのですが、ちょっと資料の提供をお願いしておきたいと思います。

今、文部科学省や自民党の文教の部会では、道徳教育について大変力を入れつつございます。御案内のように、道徳教育というのは点数を付けるということが非常に難しいというのは十分にわかっているのですが、やっぱり人心が乱れたとき、ちょうど今のような時代ですが、親が子を殺す、子が平気で親を殺すといった時代の中で、一番大切なのは道徳であり、倫理であると思うわけですが、道徳教育については、過去に我々の同僚議員も本会議で何度も質問し、提言したわけでありますが、なかなか成果にするのには非常に難しい部分であり、特別審議会のほうから出てきているような情報を聞いております。当然、教育委員長や教育長を始め、皆さん方も道徳教育の重要性というのは十分にわかっていると思うわけですが、我々もずっと提唱している道徳教育について、本県ではどの程度行き届いているのか、ここ2年間でもいいのですが、道徳教育についての内容とか、どれくらいの時間だったのかということをお聞かせください。付託委員会までお願いします。付託委員会でまとめて質問なり、提言をしたいと思っておりますので、是非、お願いします。

前回、岡副委員長からの発言もあり、我々は今度の代表質問の日に、仮称ですが徳島県議会教育を考える議員連盟を発足することになりました。今のところ30名の議員から御賛同頂いているようでございますので、これから教育委員会からいろんな御後援やお教えも頂き、そして我々からどんどん提言を申し上げてまいりたいと思っております。つきましては、道徳についての資料提供がお受けいただけるのかについて、お聞きしたいと思います。

#### 西浦総合教育センター所長

道徳教育に関しての資料ということでございますので、ここ2年間の道徳教育の実施状況でございますとか、その内容、時間等につきまして、御説明をさせていただくように準備をしてみたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

#### 中山委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）  
それでは、これをもって質疑を終わります。  
以上で、教育委員会関係の調査を終わります。  
議事の都合により、休憩いたします。（14時13分）